

特定技能ベトナム人・ミャンマー人の 就労に対する調査結果

株式会社JJS

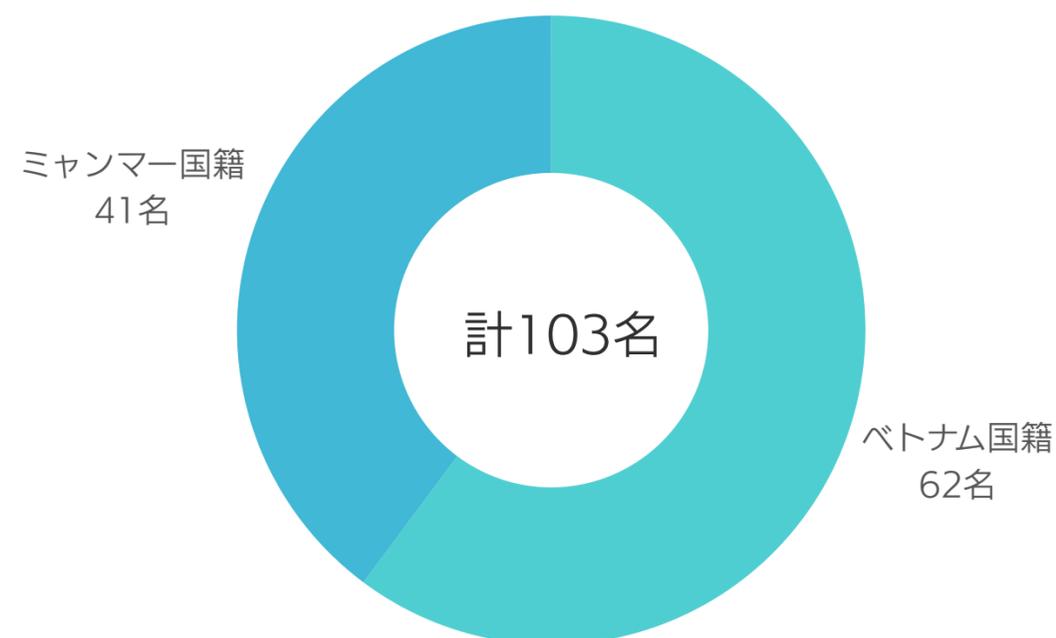
調査概要・回答者属性

調査概要

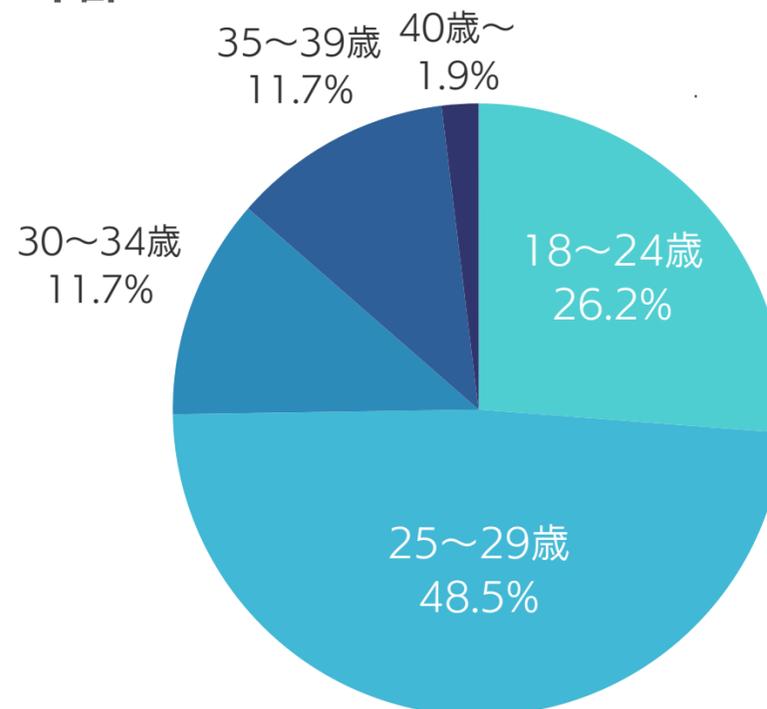
- ・ **調査対象**—弊社が支援しており、現在特定技能で従事しているベトナム、ミャンマー国籍の方
- ・ **調査方法**—弊社スタッフが支援している特定技能ベトナム人、ミャンマー人にFaceBookからアンケートフォームを送付し回答者が入力後送信する
- ・ **調査期間**—2024年1月4日～1月18日
- ・ **有効回答数**—103件
- ・ **調査機関**—株式会社JJS

回答者属性

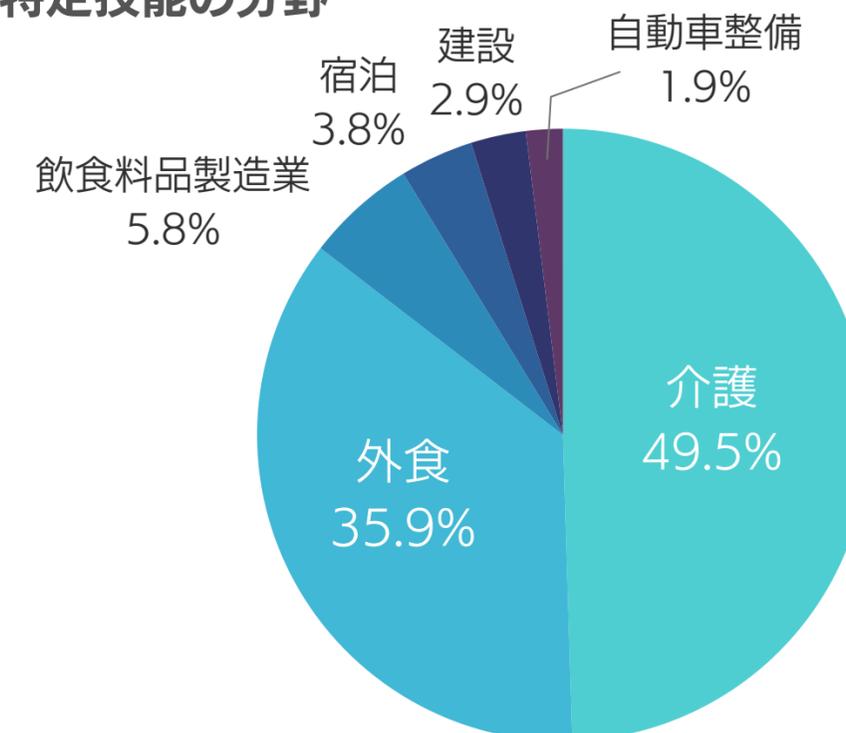
・ 国籍



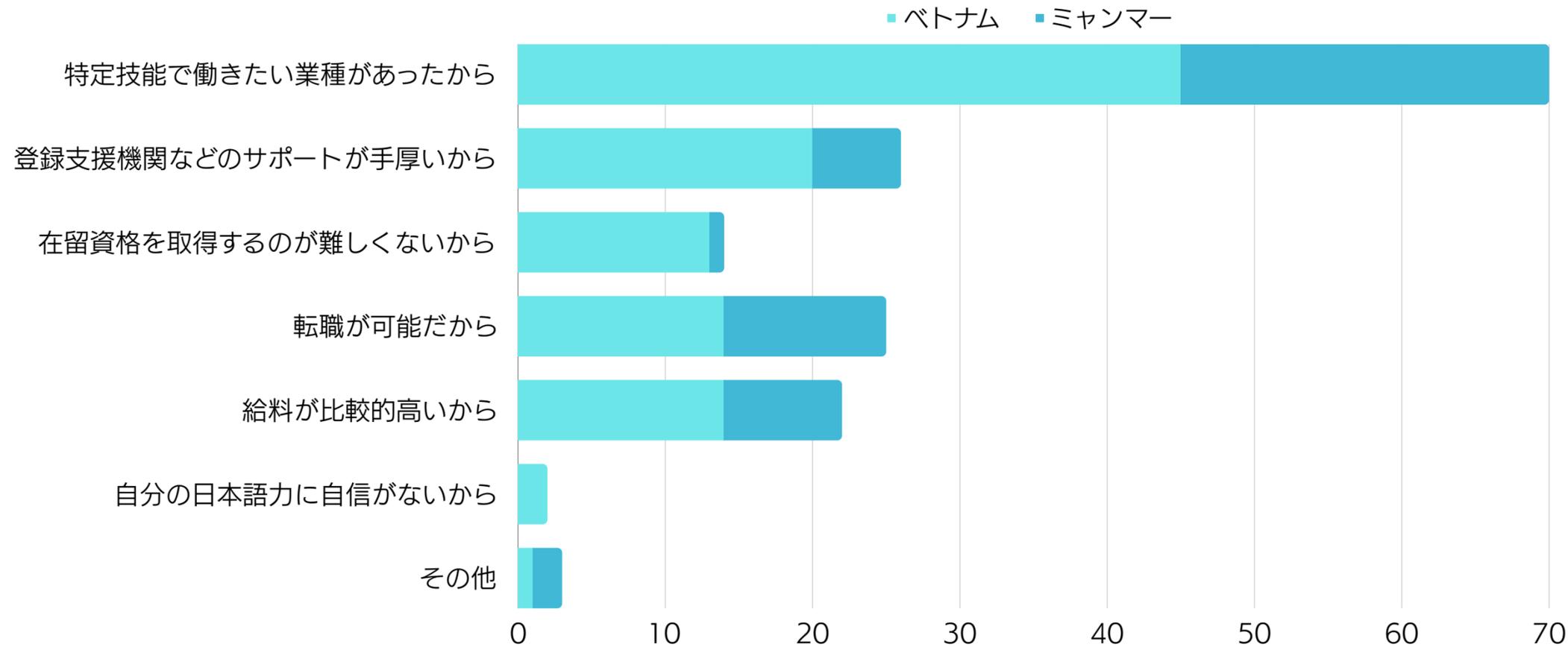
・ 年齢



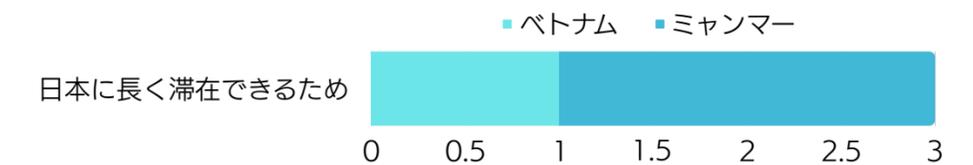
・ 特定技能の分野



特定技能で従事しようと考えた動機



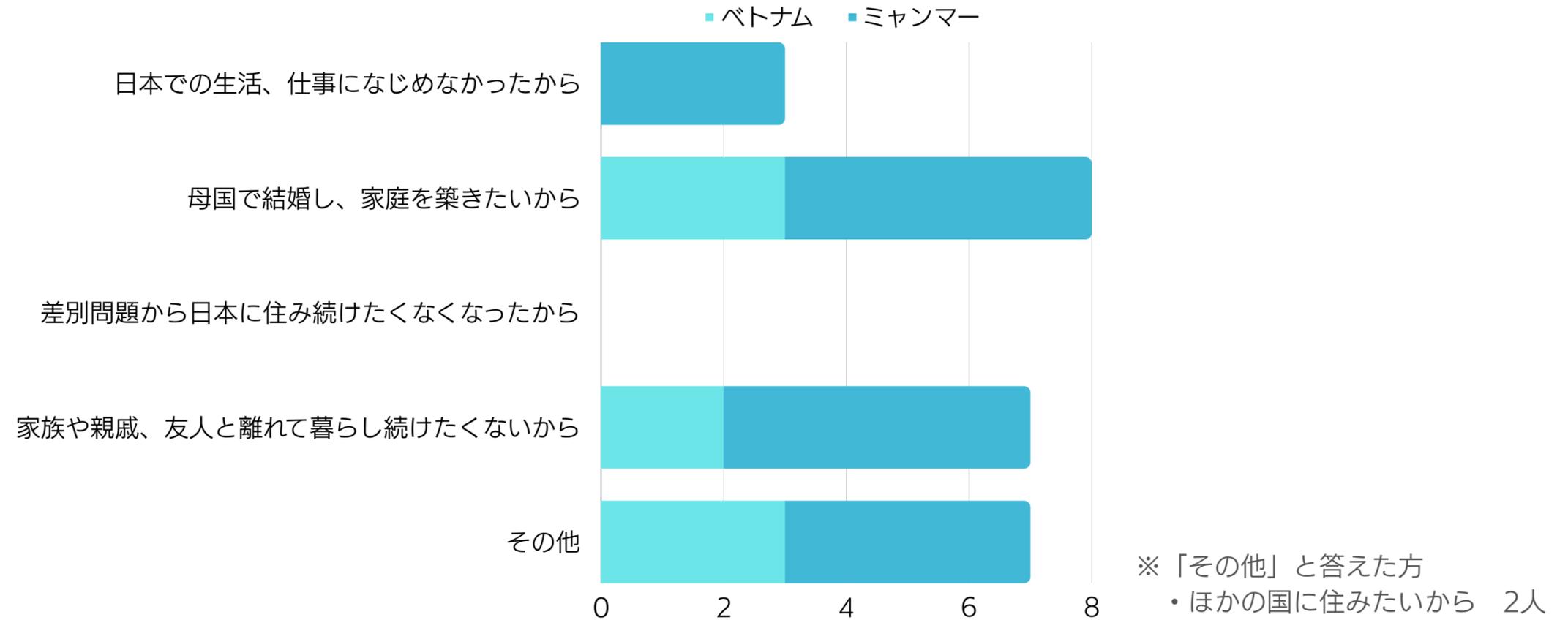
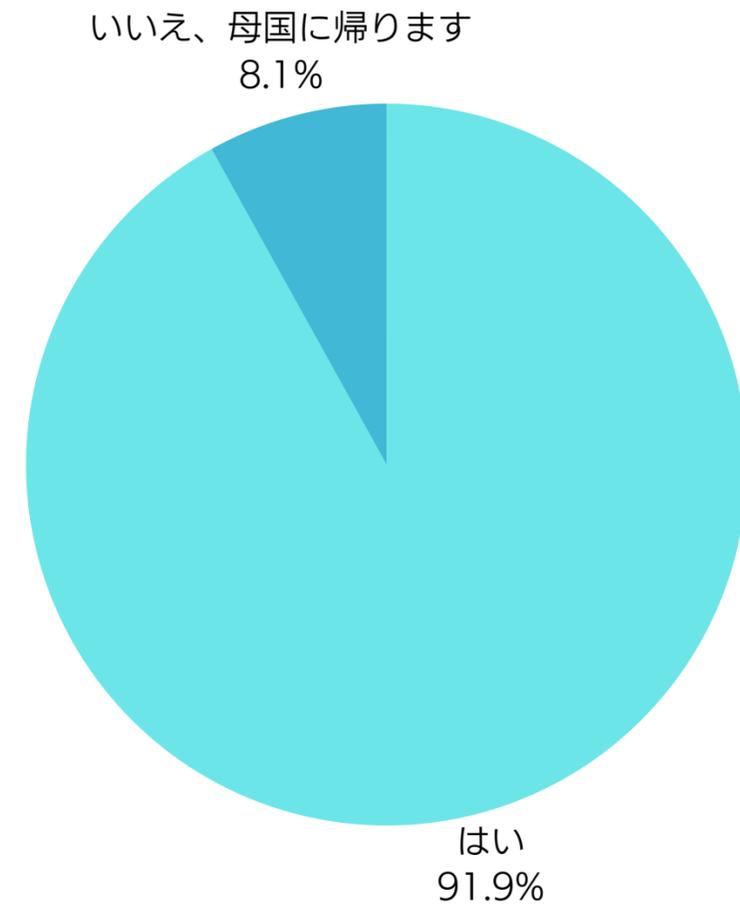
※「その他」と答えた方



- 全体的に特定技能の在留資格を取得した理由には給与面などよりも働きたい業種があるということの方が大きいということが分かった
- ミャンマー国籍の方にとって、特定技能ビザは取得することは容易ではないということがうかがえた
- 特定技能の手厚いサポートや転職ができるということも、外国人には魅力的に映っていることがわかった

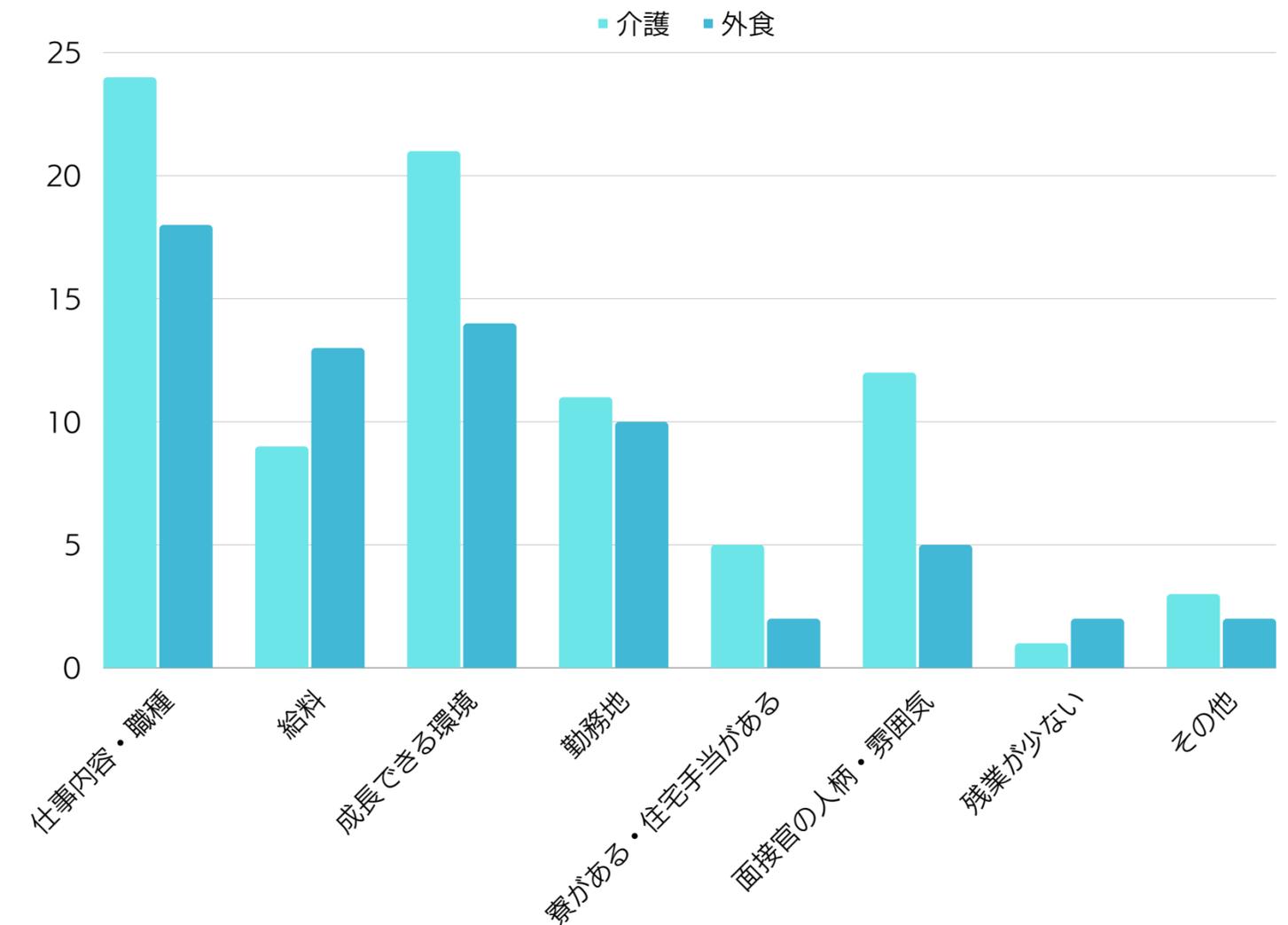
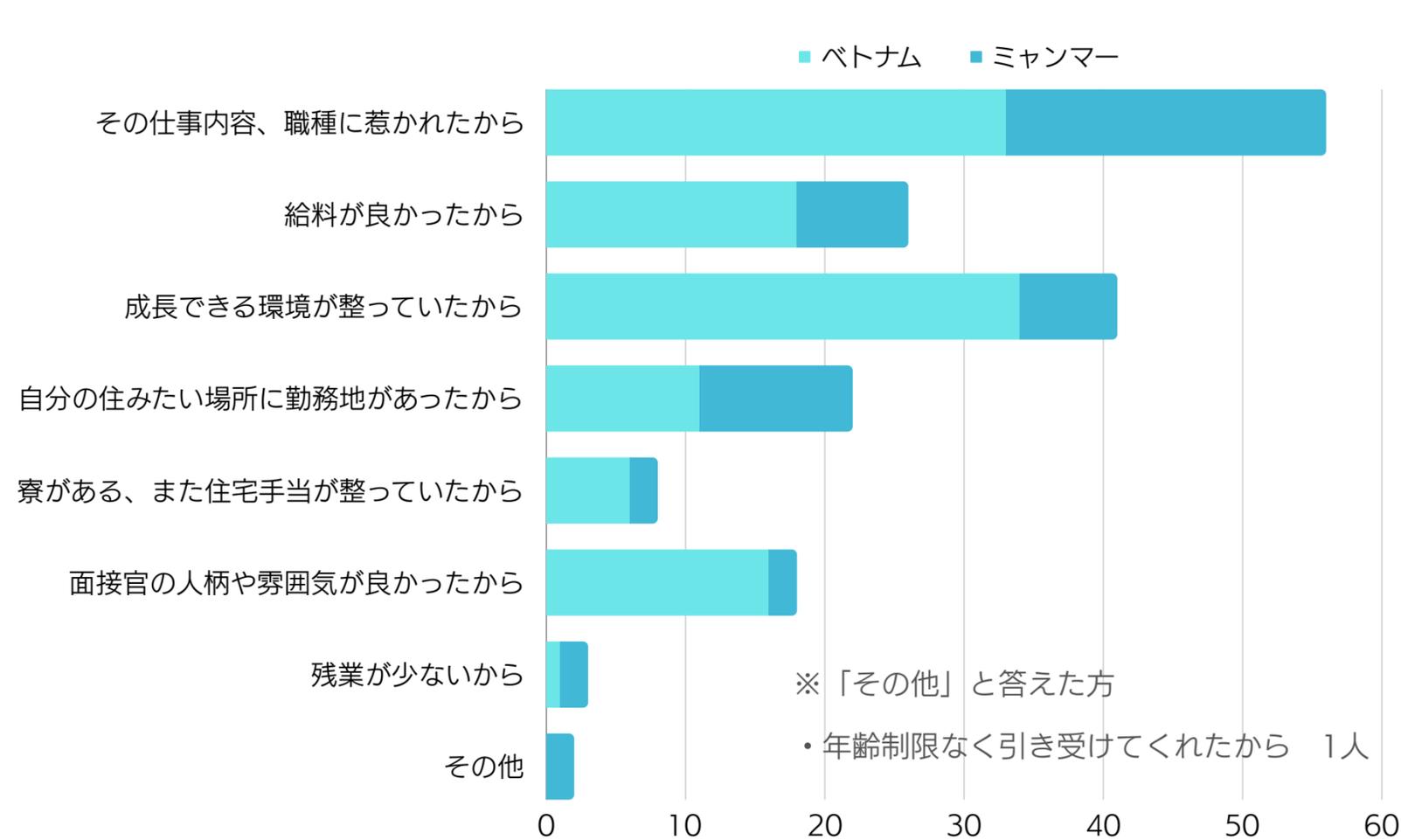
特定技能2号や介護福祉士を取得し 永続的に日本に居住する意向はあるか

※ 「いいえ、母国に帰ります」と答えた方



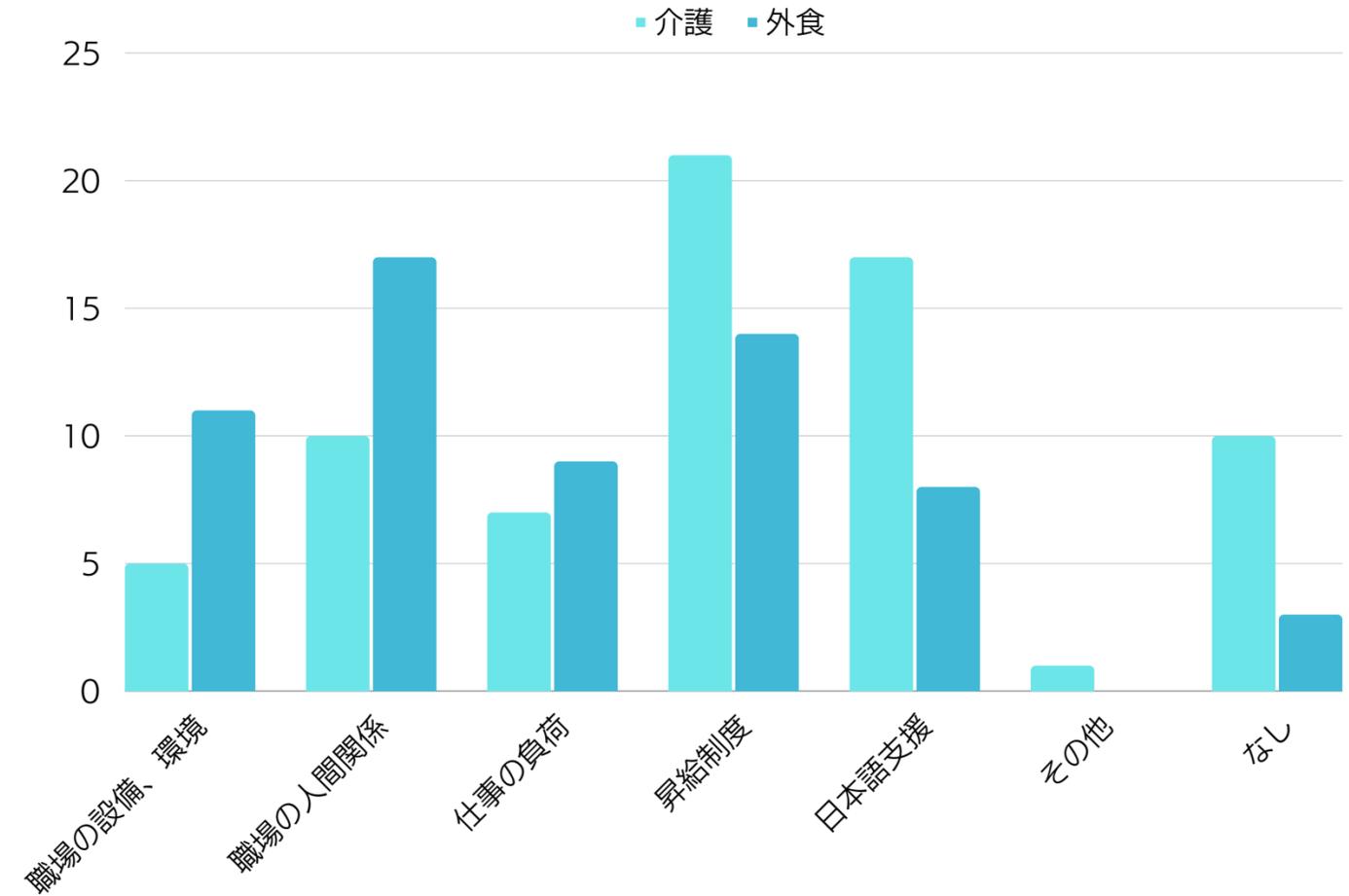
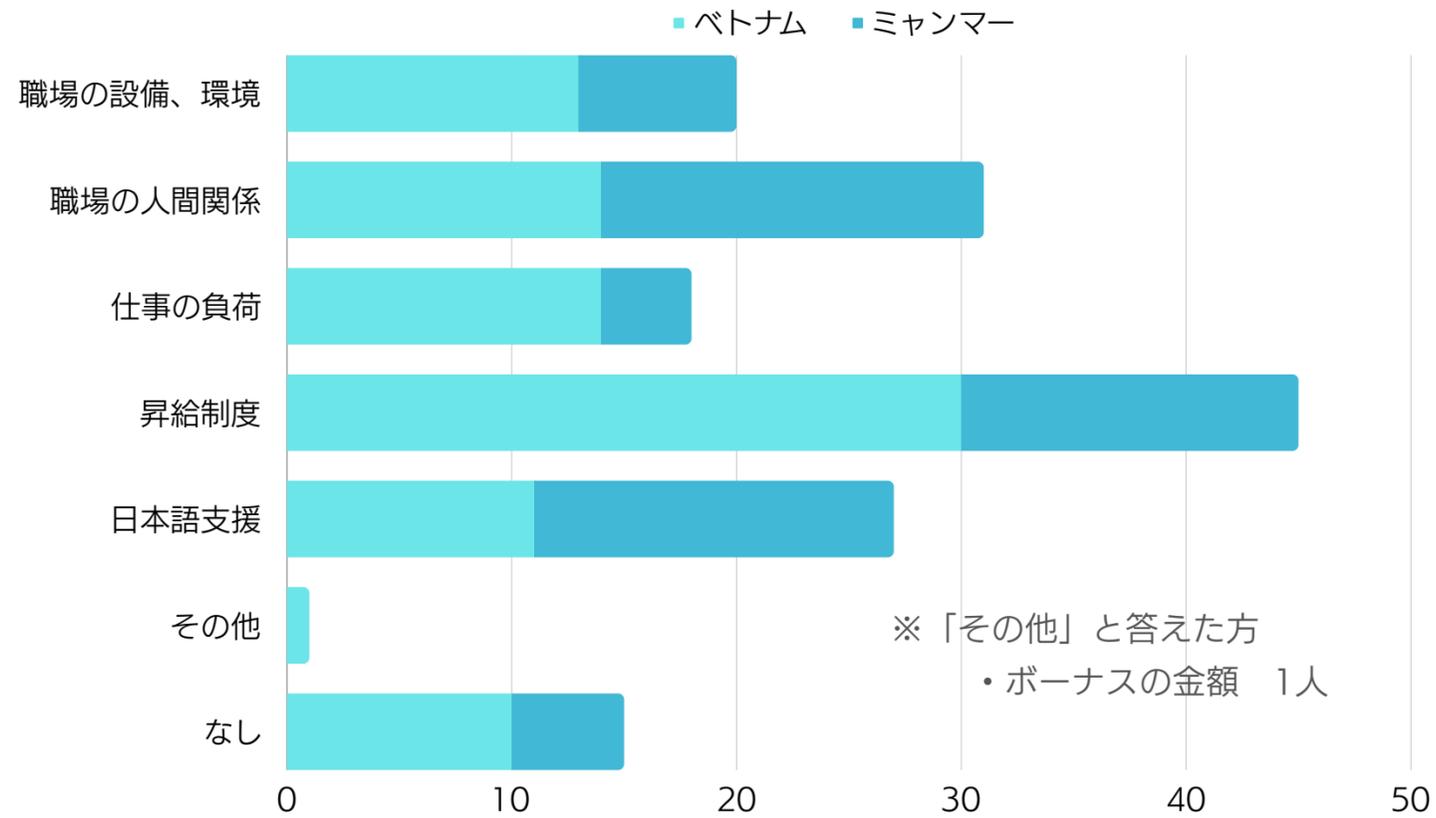
- ・ 現在特定技能で働いている方の9割はこのまま特定技能でまた介護福祉士として日本に住み続けたい意思があるということが分かった
- ・ 母国に帰りたいと答えた方の中で、日本にネガティブな印象を持った方は少ないということがうかがえる

今の就職先を選択した主な要因



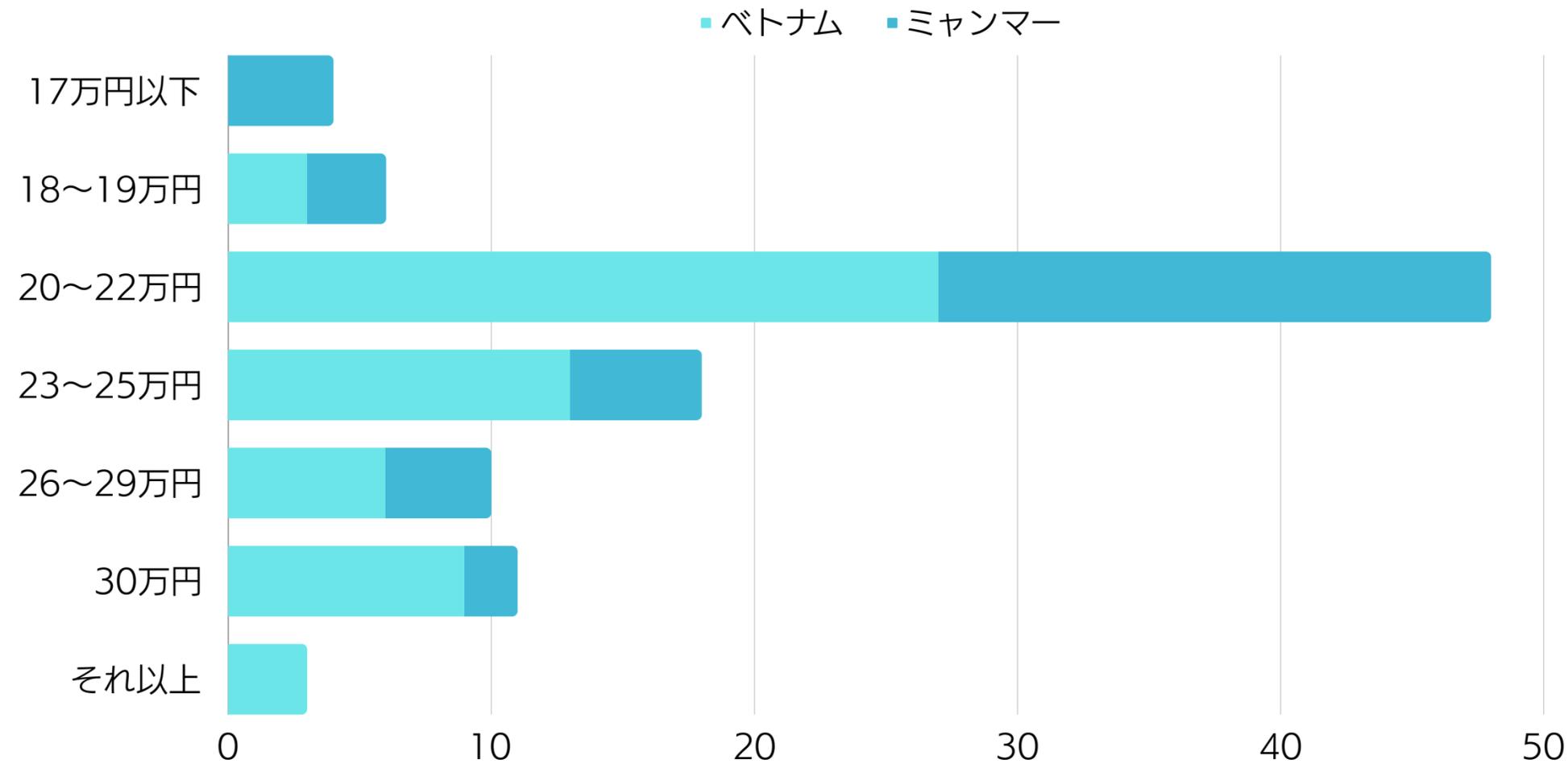
- 全体的に特定技能外国人の方は、職種、職場を仕事内容、そして成長できる環境かどうかで決めているということがわかった
- 「成長できる環境が整っている」という要因が大きな割合を占めていることから、仕事を頑張りたいという方が多いことがうかがえる
- 主にベトナム国籍の方は面接官の雰囲気をある程度重視していることがわかった
- 分野別では、外食希望の方が給与面を気にしていることがわかる

現在の職場で改善してほしい点



- 現在特定技能で働いている約半数は昇給制度に不満を持っていることがうかがえた
- ミャンマー人の方が会社からの日本語の支援をさらに必要としていることが分かった
- 約3割の人は職場の人間関係に不満を持っていることがわかった
- 分野別では、外食の方が環境、人間関係、仕事の負荷を改善してほしいと回答する人が多い
- 介護では日本語支援をさらに必要とする外国人が多い

ひと月に稼ぎたい最低金額



※～22万円を希望する人の割合

ベトナム → 49%

ミャンマー → 72%

※25万円以上を希望する人の割合

ベトナム → 43%

ミャンマー → 20%

- ベトナム国籍の方がミャンマー国籍の方より高い給与を希望していることがわかった
- 少なくとも月給を20万円以上にすることが必要ということがうかがえた

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社JJS



TEL 03-5944-5860



info@japanjobschool.com

本資料の著作権は当社に帰属します。

本資料に掲載のデータ・グラフ等の無断転載を固く禁じます。

転用・引用、またご質問等に関しては、上記までご連絡ください。